

# オウム対策住民協議会ニュース

烏山地域オウム  
真理教(現アレフ)  
対策住民協議会

## 第二回 シリーズ「オウム真理教の悪行を思い起こす」 日本犯罪史上最悪のテロ、地下鉄サリン事件

### 地下鉄に猛毒サリン

#### 死者十二人、重軽傷五、五一〇人の重み

##### 1. 事件とその被害者

一九九五年三月二〇日ラッ  
シニアワの午前八時頃、教  
団への強制捜査が迫っている  
ことに危機感を抱いたオウム  
真理教が、捜査を攪乱して首  
都圏を混乱させるために、東  
京の地下鉄五路線に、青酸カ  
リの五〇〇倍の威力を持つナ  
チスドイツが開発した神経ガ  
ス「サリン」を撒布するとい  
う、人類史上初めての同時多  
発・無差別・化学テロを起こ  
した。泡をふいてはばたと  
人が地下鉄の中で倒れたこの

事件では、乗客や駅員ら十二  
人が死亡、五五一〇人が重軽  
傷を負った。当初は、原因が  
分からず、何も出来ぬまま容  
態の悪化に手をこまねいてい  
たが、前年の松本サリン事件  
で被害者を治療した信州大学  
付属病院の医師が、テレビの  
惨状をみて松本との類似性に  
気づき、サリン中毒と特定さ  
れ、適切な治療ができた。こ  
の結果、この惨劇の死者は  
十二人に止まった。  
しかし、残された五五一〇  
人の被害者の多く



駅構内から運び出される負傷者



防毒マスクをつけ地下鉄構内に入る警視庁の係員



路上にうずくまる乗客  
毎日新聞 1995年3月20日 夕刊より



汚染された電車内で除去作業する自衛隊  
毎日新聞 1995年3月21日 朝刊より



山梨県旧上九一色村のオウム真理教関連  
施設から薬品を押収する警察官

は、事件から10数年たった今でも、  
治療が必要な状態にある。例えば、  
毎年被害者検診を実施しているN  
P〇の二〇〇一年の検診結果では、  
三六二名の受診者中、三四七名  
(95%強)に後遺症がみられ、そ  
の内訳は、目の異常が6割、身体  
の不具合(頭痛、手足のしびれ等)が  
6割、PTSD(心的外傷後ストレ  
ス障害)の症状を残されている方が  
女性で3割、男性で2割となってい  
る。PTSDの症状として、地下鉄  
の網棚の新聞紙を見たり、地下鉄で  
帽子をかぶってマスクをした人を  
見たとたんに、恐怖感や頭重感を覚  
えるといったフラッシュバックの  
症状を上げている。治りきらない心  
身の病状が何われる。

##### 2. 事件の加害者(犯人)

地下鉄サリン事件の翌々日、3月  
22日の朝、化学防護服で全身完全  
武装した数百名に及ぶ捜査員が、オ  
ウムの活動拠点である山梨県旧上  
九一色村で一斉強制捜査を開始し  
た。約90kmの旧上九一色  
村全域に点在する12棟  
のサテイアンやプレハブ  
などがまもなく捜査さ  
れ、サリン製造プラント・  
武器庫・道場・独居房など  
が明らかになった。が、  
目的とした犯人は、既に  
逃亡した後だった。実行  
犯の逮捕には、四月石川  
県での林郁夫の自首と全  
容自供で始まり、翌年12  
月石垣島での林泰勇逮捕  
の21ヶ月を要した。首謀  
者である教祖松本智津夫  
は、5月の大捜査で、屋  
根裏の隠し部屋で排泄物  
にまみれて潜んでいると  
ころを逮捕された。  
オウム関連では一八九  
人が起訴され(二〇〇四  
年一月)、次々と極刑が言  
い渡されている。首謀者  
(裏面へ)

### 教団が分裂 上祐は新団体設立へ

#### 美辞麗句を並べる上祐のペテン

オウム真理教(現アレフ)の上祐史浩前代  
表は3月8日、南烏山の教団施設で記者会見し、  
教団から出家・在家信者65名が上祐前代表とと  
もに脱会し、麻原死刑囚と決別する事を明らか  
にした。

新団体は現在と同じマンションを拠点にし、  
5月をめどに設立するという。麻原死刑囚の影  
響を排除した新しい教義を作り、ホーリーネー  
ムも使わず、オウム  
食も止めるといふ。  
オウム真理教「上  
祐派」と「反上祐派」  
は昨年春頃から対立  
が表面化し、06年7  
月からは道路を挟ん  
で派閥毎の住み分け  
が済んでいた。その  
後は、両派の行き来  
はほとんど無い。



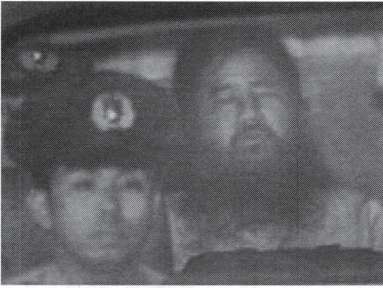
上祐前代表はオウム真理教の活動を規制する  
「観察処分」の施行で、今後の教団運営に危機  
感をもち、「観察処分」のがれを目指し、「脱麻  
原路線」を展開した。しかし、反上祐派は、そ  
んな上祐の言動に反発し、両派の派閥争いが激  
化した。

住民協議会は、今回の事態は、同じ器の中の  
仲間割れにすぎないと考える。上祐がどんな美  
辞麗句で飾りたて新団体を麻原の影響をなくそ  
うとしても、上祐史浩の以前の言動を見てきた  
私達は騙されない。今後も一層の警戒心を持ち、  
解散・解体に向け監視を続けていく決意だ。





オウム教団施設内の化学薬品類



逮捕された松本被告

の松本智津夫は、法廷での英語混じりの話や突然の大声など詐病まがいの言動で、裁判を受ける能力自体が問われたが、11年後の二〇〇六年、死刑で結審した。

**3. 私達の運動は**

何が起ったのかも知らずに死んだ者。今なお家族の介護を受けながら寝たきりの生活を続け、国の補償がなく将来の生活に不安を募らせている者。彼等、被害者に代わり「地下鉄サリン事件被害者の会」や「被害対策弁護団」が国などに補償を求める運動をしている。我々も振り返らず先を見据えて、カルト宗教であるオウム真理教の全面解散・解体を求めて、運動を続けていきたいと思います。

地下鉄線	実行犯	運転手	発生駅	死亡	重傷
千代田線	林郁夫（無期懲役）	新実智光（死刑）	霞ヶ関	2人	231名
丸ノ内線荻窪発	広瀬健一（死刑）	北村浩一（無期懲役）	御茶ノ水	1人	358名
丸ノ内線池袋発	横山真人（死刑）	外崎清隆（無期懲役）	四谷	0人	-
日比谷線中目黒発	豊田亨（死刑）	高橋克也（逃亡中）	霞ヶ関	1人	532名
日比谷線北千住発	林泰男（死刑）	杉本繁郎（無期懲役）	築地	8人	2475名

**下記場所へ物品をお願いします**

**1回目 3月22日(木)**

AM10:00~12:00

烏山総合支所 1階 会議室

**2回目 3月29日(木)**

PM1:00~8:00

烏山区民センター 3階 集会室

**3回目 4月5日(木)**

AM10:00~12:00

烏山総合支所 1階 会議室

**4回目 4月12日(木)**

PM1:00~5:00

烏山区民センター 3階 集会室

- 物品は、住民協議会の方に直接渡していただいても結構です。
- 連絡先：03(3326)6134

**住民協議会の  
リサイクルバザーに  
物品提供お願いします**



〔開催日時〕

**4月14日(土)**

AM11:00~PM3:00

烏山区民センター広場

**雨天決行**

当日のボランティア  
も募集中

オウム解体・解散を目的に活動を続けて7年目に入りました！  
「協議会ニュース」の発行、毎日の監視活動、抗議集会・学習会など烏山地域住民が手を取り合って、ここまで来ました。区内の大学新入生へのオウム教団の危険性、カルト集団の入会阻止のパンフレットの配布も、今年で3回目になります。  
以上の活動を続けて行くには、大きな活動費が必要です。地域の

イベントなどで募金活動を行っていますが、まだまだ足りません。そこで4月14日(土)11:00~リサイクルバザーにより活動資金を得ることとなりました。当日会場へおいで下さることはもちろん、事前に皆様の家庭で不要となりました品物(新品)、又、中古品の場合はクリーニング済みの物など、寄付をしていただきたいと思います。どうぞ私たちの活動の一助となるようお力をお貸しください。

**住民協議会活動報告**

2月22日(木) 政府へのオウム反対要請  
(熊本区長、倉本会長他)

2月22日(木) 実行委員会

3月3日(土) 若返りもまつり会場で募金活動

3月4日(日) 新樹苑もちつき会場で募金活動

3月5日(月) 「協議会ニュース63号」初校正

3月8日(木) 事務局会議

3月12日(月) 「協議会ニュース63号」再校正

3月19日(月) 「協議会ニュース63号」発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。